

平成25年度 中部森林技術交流発表会 発表課題一覧表

(注) ○印は、発表者

番号	課 題 名	所 属	配属・職名	氏 名
1	伐採と造林の一貫作業システムについて	北信署	森林技術指導官 黒姫森林官	木内重明 ○森田直宏
		信州大学農学部森林科学科 3年		○大塚大
2	治山ダムにおける県産材コンクリート型枠合板の実証的施工について	中信署	姫川治山事業所 治山グループ 治山技術官	○長濱健 岡庭敏夫
		中信署	白馬森林事務所	○有賀茂
3	白馬岳の山火事跡地のモニタリング調査について	信州大学山岳科学総合研究所		○佐々木明彦 高橋耕一 鈴木啓助
		中信署	白馬森林事務所	○有賀茂
4	間伐材を利用した木製治山ダムの施工について	南信署	治山グループ 主任治山技術官 " 治山技術官	○澤口章一 中屋忍
		木曽署	業務グループ 森林整備官	○黒澤友大
5	高齢級人工林ヒノキのブランド化について	木曽官材市売協同組合 原木課長		○鈴木隆志
		南木曽支署	阿寺森林事務所 森林官 業務グループ 森林整備官	○三村晴彦 吉村美美子
6	コンテナ苗の普及に向けた取り組みについて	森林・技術支援センター 業務係長		千村知博
		富山署	常願寺川治山事業所	○竹内智絵
7	急傾斜地における法枠工の経過と勾配緩和網の導入について	日本植生株式会社 設計部		○秋田好弘
		飛騨署	森林技術指導官	○日置順昭
8	民国連携による市町村森林整備計画のブラッシュアップについて(指標林の設定)	岐阜県飛騨農林事務所 林業課 技術課長補佐		中谷和司
		東濃署	森林技術指導官	○大野裕康
10	中部森林管理局管内における高齢ヒノキ人工林の林分構造	技セン	森林技術普及専門官	○早川幸治
		岐阜県立森林文化アカデミー 教授		○横井秀一
11	シカの嗜好植物との混植によるヒノキ苗の食害軽減効果の検証	技セン	業務係長	○千村知博
		岐阜大学応用生物科学部 助教		安藤正規
12	ササ生地におけるコンテナ苗を活用した更新の試み	技セン	森林技術普及専門官	○早川幸治
13	コナラの胸高直径からシイタケ原木と薪の収穫量を推定する	岐阜県立森林文化アカデミー 森と木のクリエイター科 2年		○田中一徳
14	フクシマの林業従事者が安心して働ける職場環境づくり	岐阜県立森林文化アカデミー 森と木のクリエイター科 2年		○渡邊篤慶

番号	課 題 名	所属・職名・学年	氏 名
15	長野県西部地震に伴う御岳土石流跡地における約30年間の植生遷移	信州大学農学部 4年 信州大学農学部 教授 信州大学農学部 助教授	○ 堀 井 涼 香 北 原 曜 小 野 裕
16	航空機LiDARデータを用いた森林バイオマス推定 ー岡谷市横川地区を事例としてー	信州大学農学部 4年 信州大学農学部 教授 長野県林業総合センター 研究員	○ 本 村 亜 紀 加 藤 正 人 戸 田 堅 一 郎
17	木曽地方三浦実験林におけるヒノキ天然更新に微地形と土壌が及ぼす影響	信州大学農学部 4年	○ 森 本 壮 一 郎
18	木質成分のアルコール抽出試験 ～木材需要拡大への提案～	長野県林業大学校 1年	○ 古 田 啓 悟
19	狩猟サミット報告 ～立ち上がる若手ハンターたち～	長野県林業大学校 2年	○ 高 津 勇 佑
20	未来へつなぐ森林づくり	岐阜県立飛騨高山高校 環境科学科 3年	○ 瀬 瀬 樹 ○ 田 立 達 也
21	ニホンジカによる林業被害の対策方法を探る～枝条巻き・テープ巻きの効果の検証～	岐阜県立岐阜農林高校 3年	○ 小 畑 晃 ○ 後 藤 洋 哉
22	間伐材の有効利用 ～木材燃料「アツマル」の開発と普及～	愛知県立田口高等学校 林業科 3年	○ 寺 田 美 里 ○ 両 星 達 也
23	CS立体図を活用した作業路の線形の検証について	長野県林業総合センター 指導部 主査	○ 高 橋 太 郎
24	雪害抵抗性品種「出羽の雪」の試験導入について ～富山・岐阜における事例～	独立行政法人 森林総合研究所 森林農地整備センター 中部整備局 造林係	○ 河 原 田 裕 二
25	木曽ヒノキ材による超断熱木製サッシの開発	有限会社和建築設計事務所 代表取締役	○ 青 木 和 壽
26	岐阜県東白川村国有林のヒノキ人工林における水源涵養機能改善に向けた調査研究	サントリーSIC 主任研究員 筑波大学 教授 筑波大学 研究員	○ 川 崎 雅 俊 恩 田 裕 一 小 松 義 隆